議題3

平成21年度食育推進事業計画

施策展開		事業名	主な対象	事業内容	実施時期	所管課
家庭・地域における食育の推進	楽しく食べることの推進・望ましい食習慣と知識の習得	「青少年の日」「家庭・地域の日」の推進	市民	毎年9月第3土曜日の「青少年の日」、毎月第3土曜日及び翌日曜日の「家庭・地域の日」の啓発の中で、「親子でごはんづくり」など親子でふれあう機会の充実について推進する。（青少年課のホームページに周知リーフレットを掲載）	通年	青少年課
			小学生・中学生・保護者	千葉市立小・中・特別支援学校において、家庭における家族でのつながりや親子でふれあう機会を充実させるとともに食の大切さを親子で考える機会として、「お弁当の日」を2回実施する。	10月7日 12月21日	保健体育課
		ワークライフバランスの推進	市民	「八都県市仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）推進キャンペーン」などを実施し、働き方を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進する。	通年	子ども家庭福祉課
				仕事と家庭生活の両立のため、啓発事業等を実施する。（詳細検討中）	通年	男女共同参画課
		「家庭でクッキング」運動の推進	市民	家族が食卓を囲み食事ができるように、ホットプレート料理レシピの作成準備中。完成後、ホームページおよび栄養食生活改善事業において普及啓発を図る。	9月予定 以降、通年	健康企画課
		朝ごはんレシピカードの作成	市民	H21年度は、『誰でもつくれる朝ごはんレシピ「おにぎり版」』を募集する。ホームページ及び市民健康づくり大会においてレシピを紹介する。	9月募集 10月啓発 以降、通年	健康企画課
		子どもルームの指導員等への普及啓発	千葉市社会福祉協議会	子どもルームを運営する千葉市社会福祉協議会に対し、子どもの望ましい食生活についての情報提供を行う。	随時	子ども家庭福祉課
		思春期保健対策事業	思春期の子どもと保護者等	市内の中学校において、思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施する。	随時	子育て支援課
		若年者を対象とした食育の推進	高校生・大学生等	大学等と連携を図り、学生食堂を活用した情報提供を実施する（H21年度） 対象・会場：市内大学男子寮生、男子寮食堂 実施回数・内容：6回/年、生活習慣・食生活実態調査を実施し、その結果に基づいた健康教育を実施予定。（朝食の欠食者をなくす。1日1回は乳製品・果物を摂取するようにする等）	隔月	健康企画課
		食事バランスガイドの活用促進	市民	千葉市版食事バランスガイド作成準備中。 完成後、栄養食生活事業において普及啓発を実施する。	通年	健康企画課
	妊産婦と乳幼児等への食育の推進	母親＆父親学級	妊婦とその夫	保健（福祉）センターにおいて、初妊婦とその夫に対し、「妊産婦のための食生活指針」に基づき、妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導する。66ｺｰｽ。	通年	子育て支援課
		妊産婦・新生児訪問指導	妊産婦・乳幼児の保護者	訪問指導員が、訪問を希望する妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に係る様々な相談に応じる。	通年	子育て支援課
		離乳食教室	乳児の保護者	生後6～8か月児の保護者を対象に、乳児の咀嚼力を獲得するため、発達に応じた調理形態や食品の選択等について、管理栄養士が支援する。 場所：各区保健（福祉）センターにて51回実施する。 目標：離乳食づくりが育児負担にならないように支援する。	通年	健康企画課
		乳幼児健康診査	乳幼児・保護者	保健（福祉）センターで行う4か月、1歳6か月及び3歳児健診において、親と子の望ましい食習慣の啓発や栄養相談等を実施する。（4か月児160会場、1.6歳児152会場、3歳児152会場）	通年	子育て支援課
		小児肥満相談事業	乳幼児・保護者	3歳児健診からスクリーニングされた肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動などの相談を実施する。（3歳児健診152会場）	通年	子育て支援課
		子育て中の保護者への情報提供・相談	乳幼児・保護者	子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館、保健（福祉）センターで子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じる。	随時	子育て支援課
				地域子育て支援センターにこにこルームで子育て中の保護者に対し、離乳食講座を年3回実施する。 各保育所（園）では地域の保護者に向けて、食育講座等で食の関する情報提供やレシピ紹介、育児や食事相談に応じる。	離乳食講座 （6・9・2月） 随時	保育課
	健康づくりのための食育の推進	栄養相談	市民	家庭でできる食生活改善および運動の実践方法について管理栄養士が個別に相談に応じる。 各区保健（福祉）センターにて203回実施	通年	健康企画課
		ヘルスサポーター21事業	中学生以上の市民	ヘルスサポーター（健康づくりの実践者）を年間720人を目標に養成する。家庭で毎日、健康づくりが実践できるよう、350gの野菜の取り方や正しいウォーキングの方法など具体的な体験型講習会を実施する。 各区保健（福祉）センター・公民館等にて、70回実施	通年	健康企画課
		健康教育・健康相談	市民	生活習慣の改善を目的に、保健師や管理栄養士等が、健康に関する正しい知識の普及や、相談に応じ、個々の行動変容を支援する。 各区保健（福祉）センターにて、144回実施	通年	健康企画課
		介護予防教室・介護予防相談	高齢者	栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等、一人ひとりにあったプログラム提供し、高齢者の健康づくりを支援する。 場所：各区保健（福祉）センター等実施 総合介護予防教室288回　一般介護予防教室300回	通年	健康企画課
				特定高齢者を対象とした総合介護予防教室を実施する。 特定高齢者が要介護状態又は要支援状態になることを予防する。 実施場所：千葉市美浜いきいきプラザ他 実施回数：80回程度	通年 （平成21年5月～）	高齢福祉課
		食の自立支援（配食サービス）事業	ひとり暮らし高齢者	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等で調理が困難な方に対し、食関連サービスの利用調整及び配食サービスの実施により、利用者の食の自立を支援する。 市内全域にて実施。配食数約11万食予定。高齢者の栄養改善を図るとともに安否確認を行う。	通年	高齢福祉課

議題3

平成21年度食育推進事業計画

施策展開		事業名	主な対象	事業内容	実施時期	所管課
家庭・地域における食育の推進	よく噛み、よく味わう習慣の形成	乳幼児期の噛む力、飲み込む力の育成	乳幼児・保護者	乳幼児健康診査や2歳児むし歯予防教室、幼稚園等刷掃指導などの各種歯科保健事業を通じ、乳幼児とその保護者に対し、歯科衛生士等が乳幼児の噛む力、飲み込む力の育成を支援する。 乳幼児健康診査等：535回 2歳児むし歯予防教室：218回 乳幼児歯科相談・教育：162回	通年	健康企画課
		妊産婦歯科健診	妊産婦	妊産婦に対し、妊娠中と産後に各1回、医療機関委託で歯科健診を実施し、口腔衛生の普及啓発及び歯科保健の意識向上を図る。	通年	子育て支援課
		ヘルシーカムカムの開催	市民	ヘルシーカムカム2009の開催（会場：そごう千葉店） 歯科相談・歯科健診、ブラッシング指導等を実施し、噛むことの大切さや口腔の衛生等の普及啓発を行う。	5月31日	健康企画課
		口腔ケア事業	高齢者	市歯科医師会員の協力医療機関において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行い、高齢者の口腔機能の向上を図る。 （予定対象者数1300人）	通年	健康企画課
		学校歯科事業	小学生 中学生	小・中・特別支援学校179校を対象に年間1～4回実施。 口腔衛生の重要性や個々にあった歯の磨き方を理解させ、歯みがきの習慣化・歯科疾患の予防を図るとともに、噛むことによる口腔内の影響について啓発することで、児童生徒自身の健康に対する理解を高めさせる。	5月～2月	保健体育課
	地域における「食」を学ぶ機会の充実	食生活改善推進員による地域組織活動	市民	地区ボランティアとして活動する食生活改善推進員を養成し、親子料理教室や生活習慣病予防のための講習会等の地区組織活動を支援する。 レシピの提供、関係機関との調整等、食生活改善推進員が地域で活動しやすい環境を整備する。 各区保健（福祉）センター、公民館等にて600回実施	通年	健康企画課
		男性料理教室	市民（男性）	男性料理講座Ⅰ～Ⅳ（千葉市女性センター料理実習室Aにて、各2回）家庭では、まだまだ家事は女性が負担している場合が多い。料理経験の少ない男性が、日常生活における基本的な料理を体験する。	21年5月、8月、11月及び22年2月	男女共同参画課
				（公民館） 朝日ヶ丘公民館他1館で、「男の健康料理教室」他1事業（延4回）を実施予定。	4月～3月	生涯学習振興課
		おとうさんのための料理教室	市民（60歳以上・男性）	定年退職したおとうさんの地域での友達づくりを料理教室を通して支援する。 各区保健（福祉）センター、公民館等にて12回実施	通年	健康企画課
		ときめきサタディ	小・中学生	食に関する理解と関心を深め、手作りの楽しさやコミュニケーションを楽しむことを目的に、小・中学生とその保護者１２組２４名を対象に「親子パンピザづくり講座」を開催する。	11月14日	南部青少年センター
		ヤングカレッジ	青年（30歳以下）	青少年の健康づくりと仲間作りを目的に、メタボリック対策を含んだヘルシー料理を提案する「健康な食事（メタボ対策）講座」を開催する。	6月13日	南部青少年センター
		公民館等での食育講座	市民	子どもたちが料理の体験を通して適切な食習慣を身につけることができるよう、食生活改善推進員が、公民館・保健福祉センター等で親子料理教室などの調理実習や食育講座を実施する。 各区保健（福祉）センター、公民館等にて100回実施	通年	健康企画課
				（公民館） 宮崎公民館他28館で、「地域の食育推進セミナー」他40事業（延67回）を実施予定。	4月～3月	生涯学習振興課
		食育サークルの育成	市民	食生活改善推進員を中心とした、食育サークルの育成に向け、関係団体と調整中。	未定	健康企画課
	食品関連事業者等と連携した食育の推進	健康づくり応援店事業	市民	飲食店等が外食、惣菜、仕出し弁当等に栄養成分表示をするとともに、ヘルシーメニュー、ヘルシーオーダー、健康づくりに係る情報提供、禁煙及び禁煙タイムに取り組めるよう支援する。 健康づくり応援店登録店舗に対する指導：年3回健康づくり支援レターを送付し健康づくりの情報提供を実施する。登録店拡大を目的に食品衛生責任者の講習会等の機会に事業のPR を実施する。	通年	健康企画課
		給食施設指導	給食施設	給食施設に対して必要な援助及び指導を栄養指導員が実施し、喫食者の健康づくりを支援する。 個別指導：給食施設点検立ち入り調査300回 集団指導：保健所にて10回実施	通年	健康企画課
		プロから学ぶ親子料理教室	市民	調理師会や食生活改善推進協議会と連携し、そば打ちやすしのにぎり方等、プロの調理師等から直接指導を受けることができる親子料理教室を実施する。 そば打ち教室・豆板（すし）教室を3回実施	7月～8月	健康企画課
保育所（園）、幼稚園、学校等における食育の推進	保育活動や教育活動を通じた食育の推進	食育計画の作成	入所（園）児童、保護者	各保育所（園）では「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう保育課程及び指導計画に位置付けられた食育の計画を作成する。	4月	保育課
		保育を通じた食育活動	入所（園）児童、保護者	各保育所（園）では全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進する。	通年	保育課
		管理栄養士等による個別指導	入所（園）児童、保護者	各保育所（園）では管理栄養士等と看護師、保育士等が連携し、離乳食や食物アレルギーへの対応、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施する。	通年	保育課
		食に関する指導の全体計画の作成	小学生・中学生	小・中・特別支援学校において、各校の実態に合わせた、食育の目標や具体的な取組の方針を示した全体計画を作成する。	通年	保健体育課

議題3

平成21年度食育推進事業計画

施策展開		事業名	主な対象	事業内容	実施時期	所管課
保育所（園）、幼稚園、学校等における食育の推進	指導体制の整備	食に関する指導	小学生・中学生	学級担任等は、栄養教諭・学校栄養職員と連携し、家庭科をはじめとする各教科、特別活動等において教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術や知識、食文化等について指導する。	通年	指導課
				栄養教諭・学校栄養職員は学級担任等と連携し、各教科、特別活動等において教科等の特質を生かした授業や、学校給食を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術や知識、食文化等について指導する。	通年	保健体育課
		栄養教諭・学校栄養職員の個別指導	小学生・中学生	各小・中・特別支援学校において栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、偏食、肥満などについて個々の実態に合わせた指導を実施する。	通年	保健体育課
		職員研修の充実	管理栄養士等、保育士等	保育所栄養士を対象に、テーマ別グループ研修（食育、離乳食、献立検討、食事調査）を実施する。また、保育所(園)給食担当者対象に保育所（園）給食の衛生管理について研修を実施する。	テーマ別研修年5回（4･6･9･11･1月） 衛生講習会（5･6月）	保育課
			栄養教諭、学校栄養職員、給食指導主任等	栄養教諭・学校栄養職員及び給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修会を実施する。	10回	保健体育課
	給食を通した食育の充実	特色ある保育所（園）給食	入所（園）児童	旬の食材を取り入れ栄養バランスのとれた献立を作成し、発達段階に応じた食事形態の給食を実施すると共に、一人ひとりにあった援助をする。 保育所では食育月間の取り組みとして、朝食の大切さについて保護者に啓発し、朝食調査を実施する。また、年2回喫食状況調査を実施し、給与栄養状況の把握及び献立内容の充実を図る。	通年 朝食調査（6月） 喫食状況調査（7･10月）	保育課
		特色ある学校給食	小学生・中学生	各小・中・特別支援学校において、交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、特色ある給食を実施する。	通年	保健体育課
		地元農産物を導入した学校給食の実施	小学生・中学生	新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深める。 市内小・中・特別支援学校全校で、食育の日・市民の日・学校給食週間などに、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施する。	8回	保健体育課
				小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図る。 関係課定期会議：5回、供給品目：10品目、供給量：270t以上	通年	営農指導課
	農業体験や食品の調理などの体験活動の推進	栽培・収穫体験	入所（園）児童	保育所（園）では乳幼児が栽培・収穫活動を体験し、野菜を見たり育てたりする喜びを実感することで「食」への興味を育てる。	通年	保育課
		農業体験	小学生・中学生	総合的な学習の時間や、生活科等の学習での、「稲作体験」や「野菜栽培」等の体験活動、千葉市少年自然の家における移動教室や農山村留学での様々な農業体験活動等を通して、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深められるようする。	通年	指導課
		小学生の農山村留学事業	小学生	8月に4泊5日で、長野県の18市町村で実施。現地校との交流・地域の家庭へのホームステイ・自然体験・登山・炭焼き・野菜の収穫・樹木の伐採、枝打ち等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫などの農作業を行ったり、その地域の郷土料理を作ったりしながら、食に関する理解の促進を図る。	8月	指導課
		クッキング保育（調理体験）	入所（園）児童	食材に目を向け、自分でかかわった料理を食べる楽しさやうれしさを体験し、調理することに関心をもつようにする。保育所（園）では、年齢に応じた調理体験をさせる。	通年	保育課
	保護者への普及啓発・地域との連携	家庭配付献立表を活用した情報提供	保護者	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、子どもに大人気の献立のレシピや旬の食材紹介など、食育に関する情報提供を行う。	通年	保育課
				各小・特別支援学校及び学校給食センターにおいて、家庭での食育の関心を高めるため、献立表を活用して、計画的に食育に関する情報提供を行う。	通年 （8月除く）	保健体育課
		給食の展示	入所（園）児童、保護者	給食について親子で会話し、食に関心を持ってもらうことや、子どもが食べる食事量のめやすになるよう、保育所（園）で給食を展示し、作り方等を紹介する。	通年(食品のいたみやすい夏期は写真等にて対応）	保育課
		ホームページでの情報提供	市民	食育ホームページ“おいしい！元気！ちばキッズ”で、離乳食・幼児食のレシピや保育所での食育活動の様子などの情報を発信する。レシピ紹介は「食のことわざ」をテーマに毎月更新する。	通年	保育課
		食育だよりなどを通じた情報提供	保護者	保育所（園）では、食育講座や懇談会、おたより等をとおして食育活動状況を知らせるとともに、健全な食生活に役立つ情報のPRを行う。	随時	保育課

議題3

平成21年度食育推進事業計画

施策展開		事業名	主な対象	事業内容	実施時期	所管課
地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	市内産農産物への理解の促進	千葉市産農産物生産者認証制度	農業者	土壌診断の定期的な実施、農薬の適正使用の遵守、生産履歴の記帳、堆肥の利用等、市独自の基準を満たした生産者を認証する。 千葉市産生産者認証者数：170名（累計）	通年	営農指導課
		市内産農産物の認知度の向上	市民	市民公募・市民投票で決定した「地産地消シンボルマーク」を千葉市産農産物生産者認証制度の認証マークとして活用し、市内産農産物の認知度を高める。 出荷農家及び直売施設等を順次巡回し、シンボルマークの普及状況、消費者への反響や生産への反映状況などを調査する。	通年	営農指導課
		市内産農産物等のブランド化の推進	農業者	農産物や農産物を利用した加工品のブランド化を推進するための調査研究や農政センターを活用した品目選定及びバイオテクノロジーを活用したオリジナル品種の育成に取り組む。 千葉県で品種育成された落花生「おおまさり」について、栽培試験及び加工品試作を行う。	5月～3月	営農指導課
		生産者による出張授業	小学生	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深める。 生産者出張授業の開催：4回	6・7・11・1月予定	営農指導課
				子どもたちの「食」と「農」を大切に対する気持ち等を深めるために、生産者と関係機関が小学校を訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事等について授業を実施する。	4回	保健体育課
	地産地消の推進	千葉市地産地消推進連絡会議の実施	生産者、農業団体、消費者団体、流通関係者	市内産農産物の安定的な生産と供給、生産者と消費者の交流促進、食や農に関する情報収集・提供など地産地消の推進に取り組む。 地産地消推進連絡会議の開催：2回	9・3月	営農指導課
		地産地消キャンペーンの開催	市民	新鮮で安全安心な農産物を、より多くの市民にPRし、「食」や「農」に対する関心を高めるために、各種イベント会場や販売店等で千葉市の農業の紹介や農産物の展示即売キャンペーンを開催する。	随時	営農指導課
		市内産農産物の販売促進	生産者、農業団体、流通関係者	市民に市内産農産物を購入してもらうため、直売所や観光農園でのもぎ取りなどのほか、スーパー等の販売店での市内産農産物販売コーナーの設置を推進する。	随時	営農指導課
		給食への市内産農産物の導入	小学生・中学生等	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図る。 供給品目：10品目、供給量：270t以上	随時	営農指導課
				千葉市立小・中・特別支援学校を対象に、関係機関と連携を図り、千葉市でとれる豊かで新鮮な農産物等を計画的に学校給食のメニューに取り入れ、実施する。	通年	保健体育課
		地産地消の情報提供	市民	直売所や観光農園の紹介など地産地消に関する様々な情報をホームページ等を活用して提供する。	随時	営農指導課
		旬の野菜の紹介・料理レシピの提供	市民	市内産農産物の旬を紹介するとともに、それらを利用した、おいしくて手軽な料理レシピの提供や調理実演会などにより、市内産農産物のPRに努める。	随時	営農指導課
	生産者と消費者との交流と体験活動の促進	市民農園・観光農園等の整備と利用促進	市民	生産から収穫まで、気軽に市民が農業に接することができる場として、市民農園・観光農園等の整備を推進する。 新規市民農園設置：2か所 市民農園利用者：市政だより募集（2回） 観光農園入園者：市政だより広報（2回）	9月～12月 2月1日号、5月1日号、7月15日号、3月1日号	営農指導課
		ふるさと農園事業	来園者	農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいを図る。	随時	農業振興課
		高齢者いきいき健康園芸	高齢者	高齢者が、豊かな自然とふれあいながら、農家の指導のもと野菜や花を栽培するなど園芸を楽しむことにより、生きがいと健康の増進を図る。 中央区（都町）、花見川区（千種町）及び若葉区（富田町）において、各16回園芸作業を実施する。また、若葉区では、幼児園児との収穫や試食などの交流を行う。	4月～12月	高齢福祉課
		米の消費拡大推進事業	市民 幼稚園児	米の消費拡大を図るため「房総太巻き寿司」、「米粉」料理講習会や「おにぎり教室」を開催します。	太巻き寿司：11月 米粉料理：9月 おにぎり教室：1～2月	農業振興課
		家庭料理教室	市民	公民館等において、中央卸売市場で取引された食材を使った料理教室を開催する。	平成22年2月	業務課
	市内産農畜産物を活かした料理の普及	郷土料理の普及啓発	市民	ホームページや食生活改善推進員の地区組織活動を利用し、地元で生産される食材を活かした料理の普及を図る。また、伝統料理や郷土料理の掘り起こしと普及啓発を推進する。 地区組織活動：200回実施 太巻きすしや人参ごはん、小松菜を利用した料理教室等を実施する	通年	健康企画課
		下田農業ふれあい館（下田都市農業交流センター）	市民	地元で生産された新鮮で安全安心な農産物などの販売や、地元農産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図る。	通年	グリーンビレッジ推進課

議題3

平成21年度食育推進事業計画

施策展開		事業名	主な対象	事業内容	実施時期	所管課
地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	環境にやさしい食育の推進	ちばルールの普及・拡大	市民 販売事業者	市内協力店舗において、市民参加のマイバックキャンペーンを実施するとともに、さらに「ちばルール」協定締結店の拡充に努める。	11月～1月	ごみ減量推進課
		3R教育・学習の推進	幼児・小学生・保護者	3R啓発教育図書（すでに配布済み）の追加希望分の配布を行うとともに、ごみの分別方法や再資源化について体験学習する「ごみ分別スクール」を、全市立小学校（120校）の4年生を対象に実施する。	5月～10月	ごみ減量推進課
		エコ料理の普及啓発	市民	事業実施に向け準備	未定	健康企画課
		生ごみの減量・再資源化の推進	市民	生ごみ減量処理機や肥料化容器の普及促進のため、家庭での購入に対し補助金を交付する。 家庭から出される生ごみを分別収集し、メタンガス化する（モデル事業：緑区大椎町、若葉区加曽利町、美浜区幸町）	通年	ごみ減量推進課
		生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣	市民	生ごみの循環利用を促進するため、生ごみ資源化アドバイザーを養成し、派遣・講習会を実施する。	通年	ごみ減量推進課
		環境保全型農業の推進	農業者	農業の環境への負荷を軽減するため、農薬や化学肥料を削減した環境保全型農業を推進する。 耕畜連携を進めるとともに土壌診断を拡充し、適正な施肥、農薬使用の指導を行う。土壌診断数：1300検体以上	通年	営農指導課
食の安全・安心に関する情報の提供	食品の安全性に関する情報の提供	食品衛生監視指導計画の策定・公表	食品営業施設など	平成21年度食品衛生監視指導計画に基づき、食品の流通拠点となる食品製造施設、大規模食品取扱施設、給食施設等に対し、重点的に監視指導を実施する。 平成22年度食品衛生監視指導計画については、パブリックコメント手続及び意見交換会を実施し、市民等の意見を取り入れ、策定・公表する。	通年	生活衛生課
		衛生講習会の実施	食品営業施設など	食品営業者等に対して食品衛生講習会を実施し、食中毒の発生防止に努める。	通年	生活衛生課
		食の安全に関する講演会・意見交換会	市民 食品営業者	食の安全に関する講演会・意見交換会を開催し、食に関する意識の向上及び食の安全の啓発を行う。	1月	生活衛生課
			市民	暮らしのプラザ等で食の安全等に関する講演会や消費生活講座等を開催し、食の安全・安心の確保方法等を消費者に知識の普及や情報を提供する。	未定	消費生活センター
		「暮らしの情報いずみ」等による情報提供	市民	「暮らしの情報いずみ」を発行するとともに、暮らしのプラザ内に食の安全等に関するパンフレット、各種雑誌、図書、ビデオ等を配置し情報を提供する。	通年	消費生活センター
		ホームページによる食品の安全に関する情報提供	市民	食の安全に関する情報をホームページにより提供する。	通年	消費生活センター
				食中毒原因施設、その他違反者等の公表、話題となっている食品に関する情報及び食中毒予防のための注意喚起などをホームページへ掲載し、食の安全に関する情報を市民に広く提供する。	随時	生活衛生課
		食中毒予防パレード等による食品衛生の普及啓発	市民	食中毒予防強調月間においては、社団法人千葉市食品衛生協会と協力し食中毒予防パレードを実施、食中毒予防啓発パンフレットの配布などにより、食品衛生の普及啓発を行う。 また、食中毒予防啓発情報の市政だよりへの掲載、夏期・年末一斉取締り期間において保健所に懸垂幕を掲示し、食中毒等の注意喚起を行う。	随時	生活衛生課
		食品衛生推進員による自主的な衛生管理体制の促進	食品関係団体等	食品衛生推進員制度を通じて、社団法人千葉市食品衛生協会の自主的な衛生管理体制を促進する。	通年	生活衛生課
食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立	食育推進運動の展開 関係機関・団体等との連携・協力体制の確立 食育推進にかかわる人材の育成・支援	食育のつどい	市民・関係機関・団体等	「食育のつどい」の開催（会場：千葉市文化センター） 1講演会：元気の源！食事の秘訣　ーキレイは食べてつくるー　　講師：伊達友美 2食育事例発表会：幼稚園、コープほか 3パネル展示：保育所・小学校・食生活改善協議会ほか	6月17日	健康企画課
		市民健康づくり大会	市民	体育の日から始まる一週間の「健康づくり週間」に、健康づくり運動の推進団体と連携して、市民健康づくり大会を開催し、栄養・食生活などに関する普及啓発を行う。 会場：10/16→京葉銀行プラザ　10/17→きぼーる	10月16日 10月17日	健康企画課
		食育総合ホームページの設置	市民	食と健康、学校・保育所（園）等取り組み、食の安全、地産地消など、市や関係機関・団体等の食育に関する総合的な情報を提供するホームページを設置する。	通年	健康企画課
		地域食生活連絡会	保育所（園）、学校、保健（福祉）センターの管理栄養士等と食生活改善推進員	保育所（園）、学校、保健（福祉）センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする連絡会を、各区年間1～2回開催する。 食育の取り組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行う。今後、幼稚園の参加を働きかける。	通年	健康企画課
		栄養・食生活改善連絡会	関係団体	市民の食生活（「家庭食」「中食・外食」「給食」）を担う関係団体（調理師会、食生活改善協議会、食品衛生協会、栄養士会等）による連絡会を実施する。 会場：保健所　年2回実施 テーマ：地域における食育の推進及び非常災害時食生活ガイドライン作成	6月 2月	健康企画課